

近畿

オンライン開催決定!

「子どもの水辺」交流会 in 奈良

参加者募集

身近な水辺で、観察したことや体験したこと、取り組んだ活動について、近畿の仲間に発信しませんか？

交流会で発表・報告していただける小・中学生を募集します！
個人、団体、そして今年活動できなかった人の視聴も歓迎！

日時

2022年
1月22日(土)
10:30~13:00頃
(開始30分前から接続テストあり)

新型コロナウイルス感染防止の観点から
オンライン開催

プログラム(予定)

オンラインで、離れていても各活動団体をつないで交流します！

- ウェブ上で、ポスター、映像などの自由な表現でグループ別発表会
- 各府県からの水辺情報 新たな施設、イベント情報など
- 水辺について、参加者全員で意見交換

オンラインで、
水辺の仲間と交流しよう！

2021年
12月15日(水)
申し込み締切



中継センター：奈良県文化会館 奈良市登大路町6-2



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

主催/近畿「子どもの水辺」・奈良
共催/近畿「子どもの水辺」交流協議会(近畿府県の水辺活動団体等、近畿地方整備局、近畿各府県等、河川財団、近畿建設協会)※事務局:近畿「子どもの水辺」・奈良

近畿「子どもの水辺」交流会 in 奈良 募集要項

近畿「子どもの水辺」交流会は、身近な水辺活動を広く発信していただくもので、「水辺」への関心、上下流・府県間など「水辺」に関わるみなさんの交流を深め、水辺活動の継続・広がり、地域ぐるみで共につくり、守り、育てる水辺づくりを目指しています。



募集内容

水辺(川・湖・池・水路・海辺など)で観察や体験したことについて交流会で発表・報告していただける方を募集しています。

応募資格

- ①水辺で活動されている、小・中学生・高校生を含む団体または個人。
- ②発表者は小・中学生。
(展示作品についても、小・中学生が中心となって制作したもの。)

発表および展示作品等の作成要領

作品はポスター、フリップ、映像など自由とします。
(発表物の体裁は自由ですが、約5分のオンライン発表で、画面にうつすことを考慮した大きさの制作物をお願いします。フリップならA4ヨコなど。事前に画像、写真データ、映像を送っていただきますと、当日中継センターで発表に合わせて操作します。)

Zoom参加について

- Zoomは、お手持ちのパソコン、スマートフォンから簡単に無料で参加できる会議システムです。
- Zoomミーティング主催者から事前に送信された招待メール、あるいはメッセージにあるリンクをクリックし、画面の指示に従いアクセスします。
- ミーティングへの参加の仕方については、申込者に事前にお知らせします。

応募方法

次の項目を別紙応募用紙に記入の上、郵便、FAXまたはメールにて、下記の応募先いずれかに送付してください。

- ①団体または個人の名称
- ②テーマ、アピールポイント(200字以内)
- ③代表者氏名(大人)
- ④代表者連絡先
(住所・電話番号・FAX番号・メールアドレス・日中の連絡先)
- ⑤発表者(小学生、中学生、小・中学生混合の別)
- ⑥参加予定人数(発表者を記載)
- ⑦Zoomにて交流するパソコン、スマートフォンのオーナーの情報(氏名、メールアドレス、連絡先)

視聴のみで参加の方は、①の団体名、個人名に(視聴)と明記の上、③～⑦について(⑥は視聴人数)ご記入ください。中学生以下の視聴参加者がいる場合、意見交換にはぜひご参加ください。

その他事項

- 発表作品や発表状況等は、広報・啓発活動のため、紙面、SNS等に掲載させていただきますのでご理解願います。
(ただし、本交流会の広報等以外の目的には一切使用しません。不都合等がある場合は事前にお知らせください。)
- 発表者、引率者、応援の交通費については実行委員会で負担できませんのでご注意ください。
- 応募者多数の場合、会の運営上ご参加をお断りする場合や人数を制限する場合がございますので、予めご了承ください。

お問い合わせ・お申し込み先

FAX 0774-64-4183

Mail fddb257@ybb.ne.jp

住所 〒610-0331

京都府京田辺市田辺深田15
NPO法人やましろ里山の会内

お問い合わせはメール、またはFAXでお願いいたします。

近畿「子どもの水辺」・奈良
Webでのお申し込みはこちらから ▶



<http://8046satoyama.starfree.jp/mizube/mizube.php>

お申し込み締切：2021年12月15日(水) (当日着信有効。郵送の場合は当日消印有効。)



河川基金 近畿「子どもの水辺」交流会 in 奈良は、公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。